

富山大学人文学部・富山大学附属中央図書館共催
日本フランス語フランス文学会中部支部後援

アラン・ケラ＝ヴィレジェ講演会 「ピエール・ロチとラフカディオ・ハーン」

Conférence : Pierre Loti et Lafcadio Hearn
par Alain Quella-Villéger

日時 平成27年5月6日(水)14:00～15:30

場所 富山大学人文学部第6講義室

* 講演はフランス語で行われますが、逐次通訳がつきます。

Alain Quella-Villéger : 1955年、ロチの生誕地ロシュフォール生れ。ポワチエ在住、アグレジェ（歴史地理）、文学博士、リセ・ヴィクトル・ユゴー教授。ピエール・ロチ協会機関誌 *Revue Pierre Loti* 主幹を務めるなど「ロチ学」の第一人者で、フランスの植民地政策論 (*La Politique méditerranéenne de la France – un témoin Pierre Loti*, 1992)、ロチの評伝 (*Pierre Loti, le pèlerin de la planète*, 2005; 邦訳『ピエール・ロチ伝』水声社)、エキゾティスム関連著作 (René Caillié論、*Cahiers d'exotisme* 主幹) など著書多数。現在ロチの『日記』を刊行中で、日本滞在の時期に係る第4巻の発刊を機に来日。小説や詩作品も手掛ける。

問合せ先: 富山大学人文学部中島研究室 (toshie@hmt.u-toyama.ac.jp)

